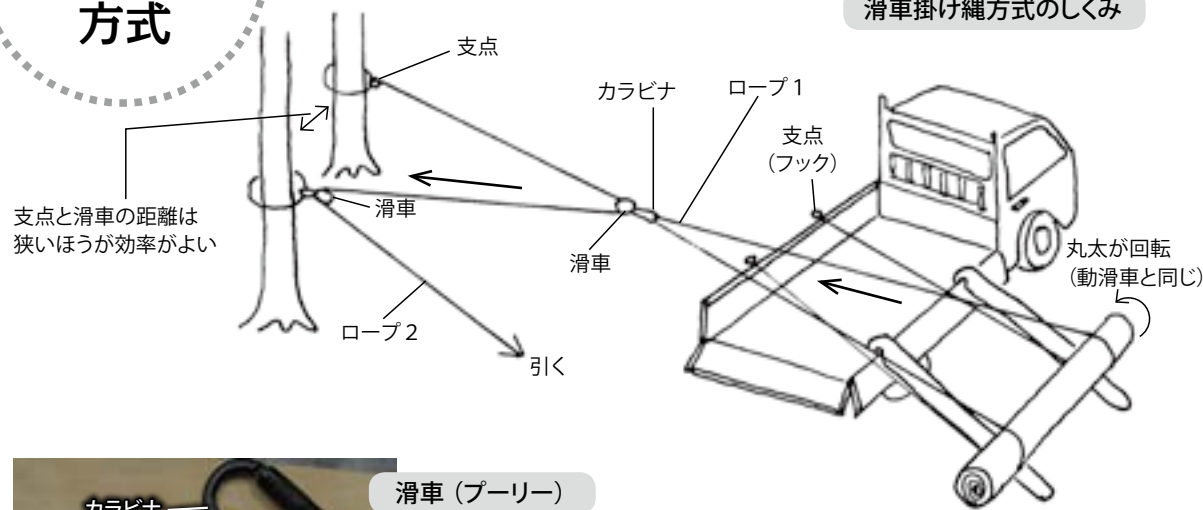


さらに滑車を加えると、もっと重い木が人力で積める。写真の島根県江津市市民向けロープワーク研修会では軽トラの鳥居を支点にしたが、近くの立ち木を支点にしてもよい



もっと重い木が積める
滑車掛け縄方式



滑車掛け縄方式のしくみ



滑車(プーリー)

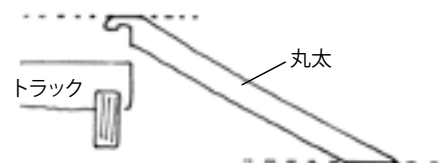
積み込みのみならず、かかり木処理から搬出まで使えるロープ用のものは特殊伐採用の滑車。真ん中の小型軽量ステンレス製のCMI社製RP118Aは3.5tの破断強度を持つ特殊伐採専門店「アウトドアショップK」(<http://www.works-odsk.jp> TEL0265-98-0835 長野県伊那市)

積載安全具

太い材を安全に積むための道具。L字型の鉄パイプを木の枠に固定して使う。走行中に材を落とす心配はなくなるが、積載オーバーに注意(元広島県林研グループ連絡協議会副会長の藤原氏の考案)



積み込み用丸太



丸太の細いほうを地面に着くほうにして、太いほうを図のように切ると、荷台でもあおりに掛けたときでも安定する。また、この切り欠きの形状は、土手の上方から丸太をあおりに掛けて材を降ろす際にも有効である

*当協議会では、中国地方や九州などで安全なチェーンソーワーク、女性でもできる集材搬出技術の講習会を行なっている。詳しくは「自伐林業への道」ホームページへ <http://www.synchronix.gr.jp>

アルミブリッジと滑車があれば
人力でここまで積める

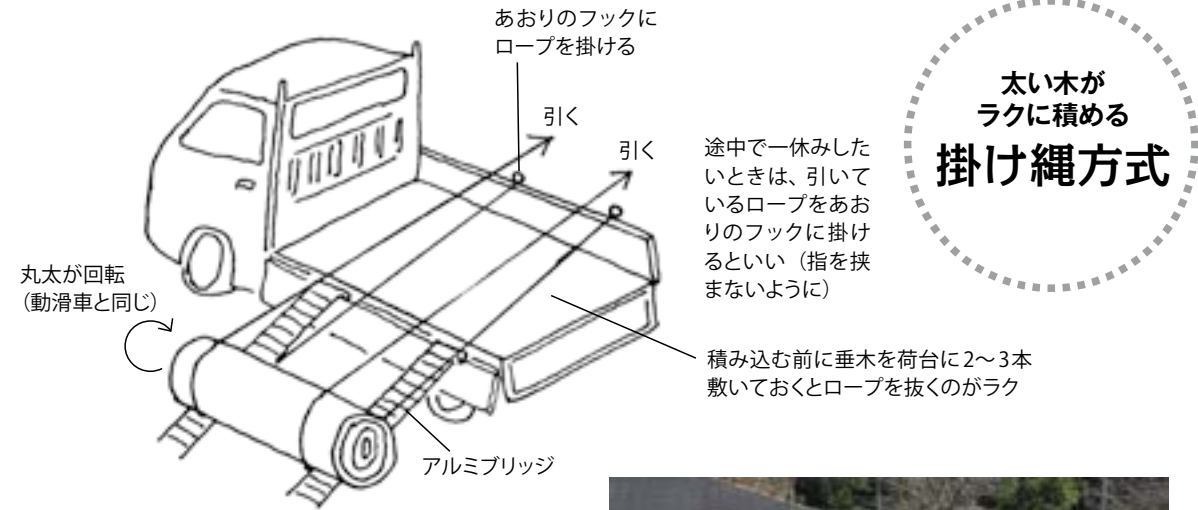
文・写真=高濱 徹(島根県 匹見・縄文の森協議会)



山から引き出した丸太を軽トラなどに積み込むのはきつい。市場に出荷できるような良材を2t車に積むとなればなおさらだが、じつはロープとアルミブリッジがあれば人力で積める。重機やウインチがいらないから、女性たちも活躍できる。

軽トラのあおりのフックに2本のロープを掛け、丸太に回して引けば、滑車の原理で2分の1の力で積める。アルミブリッジは丸太でもよい(左ページ下参照)(熊本県天草地区林研グループ講習会)

掛け縄方式のしくみ



太い木がラクに積める
掛け縄方式



写真の元口60cmで長さ2.3mのスギ丸太(重量420kg!)も、男性3人で積み込むことができた。ここでは丸太をスロープにしている(島根県雲南市住民グループ搬出講習会)



同じやり方で、写真のような元口40cmの4m材も2人で積めた! 市場に出荷して高単価が期待できる立派な材だ(熊本県宇城地区林研グループ研修会)